1　宮古市教育委員会の事務に関する点検・評価について

（1）趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和４年度（2022 年度）に宮古市教育委員会が取り組んだ事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにするものです。

点検及び評価については、その結果を市議会に提出するとともに、市民に公表し、効果的で開かれた教育行政の推進を図ります。

（2）点検・評価の対象

宮古市総合計画（前期基本計画）では、教育に関する基本施策として「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を掲げており、これを推進するため施策の体系を「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化の振興」としています。

また、「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を推進するための教育行政における具体的施策を示した「宮古市教育振興基本計画（2020-2024)」においても同様の施策の体系としています。

本報告書では、教育委員会の活動状況及び「宮古市教育振興基本計画（2020-2024)」に基づき実施した主な事務事業の執行状況を点検及び評価の対象としています。

（3）点検・評価の方法

令和４年度（2022 年度）の主要な事務事業の点検及び評価を教育委員会事務局内で行ったうえで、教育に関し学識経験を有する４人の方から外部の視点によるご意見を伺いました。

氏　　名	所属名・役職名
山名　秀樹	宮古地区退職校長会事務局長
松田　和夫	宮古市社会教育委員
長塚　奉司	宮古市スポーツ推進審議会長
佐々木　信一	宮古市文化財保護審議会長

参考　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（４）点検・評価の構成

ア　施策

宮古市教育振興基本計画(2020-2024)における「１　学校教育の充実」、「２　生涯学習の推進」、「３　スポーツ・レクリエーションの振興」、「４　文化の振興」の４つの施策です。

イ　基本事業

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における 22 の基本事業で、詳細は次のページに記載しています。

ウ　施策・基本事業の方向

施策・基本事業の基本方向を記載しています。

エ　事務事業費

事業全体の決算見込額を千円単位（千円未満切上げ）で記載しています。

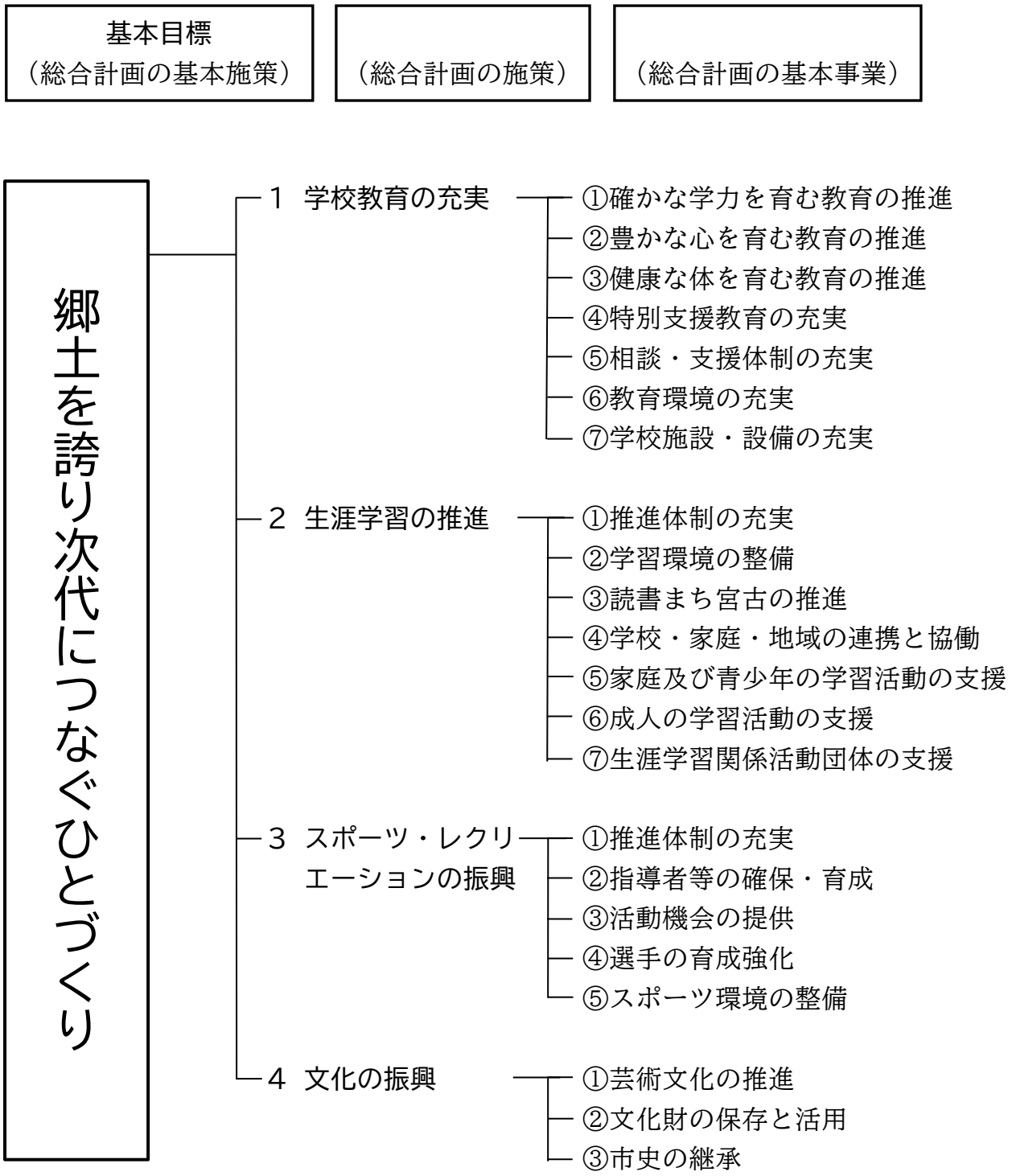
オ　活動実績・成果

主な活動実績を記載しています。

カ　施策の総括

施策の事業ごとに評価の総括を記載しています。

（５）宮古市教育振興基本計画（2020-2024）・施策の体系



２　教育委員会の活動状況について

（１）教育委員会について

教育委員会は、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習、学校その他の教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ、文化等の教育行政を一体的に推進する、市長からは独立した合議制の執行機関です。

（２）教育委員会の組織

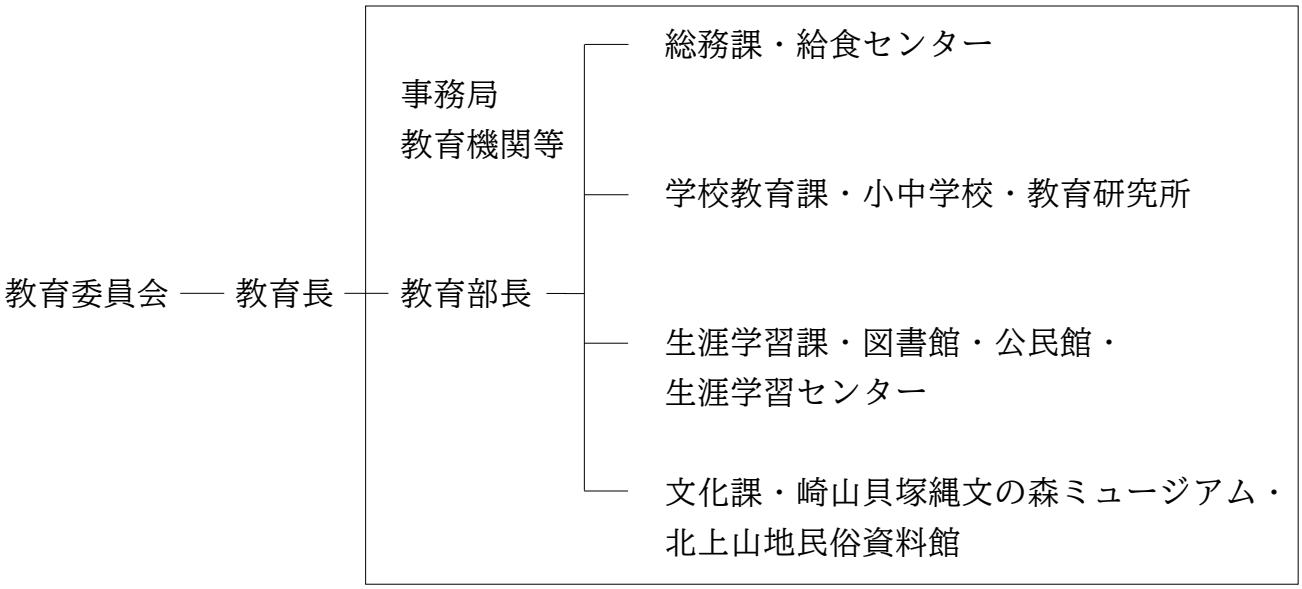
宮古市教育委員会は、教育長と４人の教育委員で組織されています。

教育長及び教育委員は、人格が高潔で、教育、学術、文化等に関して識見を有する者を市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は３年、教育委員の任期は４年で、再任されることもあります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、統括し、所属の職員を指揮監督します。



（３）教育委員会委員の構成（令和４年度）

職名・氏名	委員としての任期	教育長任期 （教育長職務代理者任期）
教育長 伊藤　晃二	－	令和２年８月30日から 令和５年８月29日まで
教育長職務代理者 荒谷　榮子	令和３年８月30日から 令和７年８月29日まで	令和３年８月30日から 次の職務代理者が指名されるまで
委　員 橋本　美紀	令和元年８月30日から 令和５年８月29日まで	－
委　員 平井　亮吉	令和２年８月30日から 令和６年８月29日まで	－
委　員 杉本　裕樹	平成30年８月30日から 令和４年８月29日まで 令和４年８月30日から 令和８年８月29日まで	－

（４）総合教育会議の開催状況及び審議内容

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、平成 27 年度から設置しています。

期　　日	会　　場	議　　題
令和５年１月10日（火）	市民交流センター２階 多目的ホール	中学校の休日の部活動の地域移行について

（５）教育委員会会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、原則として毎月１回定例会を開催し、その他必要の都度臨時会を開催しています（令和４年度は、定例会 12 回、臨時会２回の計 14 回開催）。

【４月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
４月25日	市役所４階 特別会議室	議案第１号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第２号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第３号	宮古市教育支援委員会の委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第４号	宮古市学校運営協議会の委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第５号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第６号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決

		報告第１号	令和３年度第２回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	－
		報告第２号	令和３年度第１回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	－
		報告第３号	令和３年度第２回宮古市立図書館協議会の会議結果について	－
		報告第４号	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会の委員の委嘱について	－

【５月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
５月25日	市役所４階特別会議室	議案第７号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第２号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第８号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第９号	宮古市学校運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第10号	宮古市社会教育委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第11号	宮古市社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第12号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第13号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第５号	宮古市奨学生選考委員会の委員の任命について	－

【６月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
６月24日	市役所４階特別会議室	議案第14号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第４号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第15号	宮古市公民館運営審議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第16号	宮古市文化財保護審議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第17号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第６号	宮古市議会定例会令和４年６月定例会議一般質問に係る答弁について	－
		報告第７号	宮古市立図書館資料選定委員会の委員の委嘱について	－

【７月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
７月25日	市役所４階 特別会議室	議案第18号	宮古市立図書館協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決

【８月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
８月29日	市役所４階 特別会議室	議案第19号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第５号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第20号	令和３年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第21号	令和５年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第８号	第３回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会の会議結果について	－
		報告第９号	令和４年度宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の会議結果について	－

【９月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
９月22日	市役所４階 特別会議室	議案第22号	一般会計補正予算（第６号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第23号	宮古市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第24号	宮古市立図書館利用規程の一部を改正する告示	原案可決
		議案第25号	宮古市立重茂中学校に勤務する教職員の処分に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第26号	宮古市立新里小学校に勤務する教職員の処分に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第10号	令和４年度第１回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	－

【10 月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
10月25日	市役所４階 特別会議室	議案第27号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第７号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第28号	宮古市学校運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第29号	宮古市立花輪中学校に勤務する教職員に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認

		報告第11号	宮古市議会定例会令和４年９月定例会議一般質問に係る答弁について	－
		報告第12号	宮古市野外活動センター運営協議会の委員の任命について	－

【11 月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
11月22日	市役所４階特別会議室	報告第13号	令和４年度第１回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	－
		報告第14号	令和４年度第１回宮古市野外活動センター運営協議会の会議結果について	－
		報告第15号	令和４年度第１回宮古市立図書館協議会の会議結果について	－
		報告第16号	令和４年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の会議結果について	－
		報告第17号	第４回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会の会議結果について	－

【12 月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
12月16日	市役所４階特別会議室	議案第30号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第10号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第31号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第11号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認

【１月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
１月25日	市役所４階特別会議室	議案第32号	宮古市学校給食の実施に関する規則	原案可決
		議案第33号	宮古市いじめ問題対策委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第34号	令和５年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第35号	令和５年度宮古市教育行政施策の方針及び重点を定めることに関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第18号	宮古市議会定例会令和４年12月定例会議一般質問に係る答弁について	－

【２月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
２月16日	市役所４階特別会議室	議案第36号	令和５年度宮古市一般会計予算(教育関連予算)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認
		議案第37号	令和４年度宮古市一般会計補正予算(第15号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承　認

		議案第38号	宮古市指定天然記念物の指定解除に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第19号	令和４年度第２回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	－

【３月臨時会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
３月３日	市役所４階 特別会議室	議案第39号	令和５年度宮古市立小･中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決

【３月臨時会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
３月10日	市役所４階 特別会議室	議案第40号	教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて	原案可決

【３月定例会】

期　日	会　場	議案／報告	件　　名	審議結果
３月24日	市役所４階 特別会議室	議案第41号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第42号	宮古市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第43号	宮古市立小･中学校教職員多忙化解消対策方針の策定に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第44号	宮古市就学援助事業実施要綱	原案可決
		議案第45号	宮古市北上山地民俗資料館条例施行規則及び宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第46号	宮古市立小・中学校適正配置実施計画（令和５年度～令和７年度）の策定に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第20号	宮古市議会定例会令和５年３月定例会議一般質問に係る答弁について	－
		報告第21号	第５回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会の会議結果について	－

（６）教育委員会に係る条例及び規則の制定並びに改正について

令和４年度における教育委員会に係る条例及び規則の制定並びに改正は、下記のとおりです。

【条例改正】

公布年月日	条例番号	件　　名
令和４年12月27日	宮古市条例第37号	宮古市学校給食の実施に関する条例
令和５年３月29日	宮古市条例第11号	宮古市北上山地民俗資料館条例及び宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム条例の一部を改正する条例

【規則改正等】

公布年月日	規則番号	件　　名
令和４年４月28日	宮古市教育委員会規則第６号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則
令和４年９月27日	宮古市教育委員会規則第７号	宮古市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則
令和５年１月30日	宮古市教育委員会規則第１号	宮古市学校給食の実施に関する規則
令和５年３月29日	宮古市教育委員会規則第２号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
令和５年３月29日	宮古市教育委員会規則第３号	宮古市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則
令和５年３月29日	宮古市教育委員会規則第４号	宮古市北上山地民俗資料館条例施行規則及び宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム条例施行規則の一部を改正する規則

３　施策別の主要事務の点検、評価

１　学校教育の充実

①確かな学力を育む教育の推進
②豊かな心を育む教育の推進
③健康な体を育む教育の推進
④特別支援教育の充実
⑤相談・支援体制の充実
⑥教育環境の充実
⑦学校施設・設備の充実
※学校教育の充実の総括

２　生涯学習の推進

①推進体制の充実
②学習環境の整備
③読書まち宮古の推進
④学校・家庭・地域の連携と協働
⑤家庭及び青少年の学習活動の支援
⑥成人の学習活動の支援
⑦生涯学習関係活動団体の支援
※生涯学習の推進の総括

３　スポーツ・レクリエーションの振興

①推進体制の充実
②指導者等の確保・育成
③活動機会の提供
④選手の育成強化
⑤スポーツ環境の整備
※スポーツ・レクリエーションの振興の総括

４　文化の振興

①芸術文化の推進
②文化財の保存と活用
③市史の継承
※文化の振興の総括

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課

施策・基本事業の方向

・学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、幼・小・中が連携しながら「確かな学力」を育む教育を推進します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	22,503 千円

活動実績・成果

[教育研究所運営事業]

・学校との連携を進め、教育課程や教材、教育指導技術等の調査研究を行い、教職員の資質向上を図った。教育研究所研究発表会において、実践の成果を各校に広めることができた。

[学力向上事業]

・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行った。また、指導力向上を図るための研修会等を実施した。

・小学生の学力向上のため放課後学習支援員を３人配置して、市内全13校の小学校にて放課後の学習支援を行った。

[総合学習推進事業]

・各学校の特色ある教育活動を通して、児童生徒が自ら考え行動する力の育成を図った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課

施策・基本事業の方向

・ふるさと宮古に誇りを持ち、他人と協調し相手を思いやり、感謝する気持ちなど「豊かな心」を育む教育を推進します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	51,256 千円

活動実績・成果

[国際理解推進事業]

・小中学校にＡＬＴを５人派遣し、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等について、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育むことができた。

[キャリア教育事業]

・水産課と連携し、「宮古の漁業見学・体験」を実施し、地元産業への理解を深めることができた。

[子ども読書活動支援事業]

・学校図書館支援員を11人配置し、小中学校図書館の環境整備、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行い、児童生徒の読書に対する意識を高めることができた。

[宮古・ニュートン・スクール]

・岩手大学教育学部の久坂准教授を講師に、液体窒素を使ったサイエンスショーや科学工作のワークショップなどを行った。宮古市内の小学生70名が参加し、自然科学分野に関する興味関心が向上した。

[復興教育事業]

・「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の３つの教育的価値を関連付けた活動をとおして、改めて自分の郷土のことを見つめ直した。

[交流事業]

・「宮古市・大仙市生徒交流事業」、「宮古市・室蘭市生徒交流事業」、「沖縄県多良間村交流事業」は、新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインで開催した。沖縄県多良間村とは、山口小学校、新里小学校、第一中、第二中、河南中、宮古西中がオンラインで交流し、互いの郷土について紹介し合う活動等を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	③	健康な体を育む教育の推進	学校教育課、教委総務課

施策・基本事業の方向

・生涯を通じて活力ある生活を送る基礎となる「健康な体」を育む教育を推進します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	27,509 千円

活動実績・成果

[宮古・ＪＨＳパワーアップ事業]

・中学校の部活動において、スクールバスの運行及び会場使用料の支援により、複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図った。

[保健事業]

・児童生徒の健康管理のため、定期健康診断を実施した。

・教職員の健康管理のため、定期健康診断、ストレスチェック等を実施した。

・市内全小中学校で、学校歯科医の指示書のもと、安全に配慮しながらフッ化物洗口事業実施した。

[学校給食]

・食材の地産地消に取り組み、安心・安全な学校給食を提供した。また、市内全小中学校の児童生徒を対象に食育指導を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	④	特別支援教育の充実	学校教育課

施策・基本事業の方向

・特別な支援を必要とする子どもに対し、適切な支援体制の継続を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	87,968 千円

活動実績・成果

[幼児言語障害教育事業（ことばの教室）]

・「幼児ことばの教室」において、言語に障害や遅れがある就学前の子どもと保護者を対象に、発音の仕方や発達への不安等について、指導及び相談を行った。

[特別支援教育事業]

・特別な支援が必要な児童生徒が在籍している小中学校に特別支援教育支援員（13校、36人）、介助員（２校、２人）を配置し、学校生活における支援や指導を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑤	相談・支援体制の充実	学校教育課

施策・基本事業の方向

・いじめや不登校などの事案に対して、関係機関と連携して対応していきます。災害により影響を受けた子どもに対し、長期的な心のケアを継続して行います。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	25,144 千円

活動実績・成果

[教育相談事業]

・教育研究所に教育相談員を１人配置し、児童生徒本人や保護者からの相談（電話10件、面接35件、訪問29件）を受けた。児童生徒の状況を細やかに把握することができ、相談事項については、学校訪問を行い指導の状況等を確認し、学校、サーモン教室及びその他関係機関と連携して取り組みを進めた。

[不登校児童生徒支援事業（サーモン教室）]

・教育研究所内に「サーモン教室」を設置し、不登校児童生徒指導員３人を配置した。通級児童生徒に相談指導を行った。指導主事、学校との連携を図り、児童生徒の現状把握や「サーモン教室」の利用について、一人ひとりに応じた指導を行い、学校復帰や高校進学につなげることができた。

[学校支援推進事業]

・学校支援員を配置し、学校の事情に応じた学習支援や生徒への対応がきめ細やかに行われ、学校生活の安定や基礎学力の向上に効果があった。

・部活動指導員を配置し、教職員の勤務負担軽減及び多忙化解消に向けて取り組むことができた。

[魅力ある学校づくり調査研究事業]

・不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うため、宮古西中学校区をモデルとした調査研究を実施した。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑥	教育環境の充実	学校教育課

施策・基本事業の方向

・複雑化、多様化する学校現場の課題解決に向け、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援します。経済的な理由や地理的条件により就学が困難な子どもに対して援助や支援を行います。望ましい学校規模という視点で小中学校を適正に配置し、通学路の安全確保も含め子どもの教育環境の充実を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	275,416 千円

活動実績・成果

[育英事業]

・経済的な理由で就学困難な者に対して奨学資金の貸付けを行った。

[就学援助事業]

・経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して、国の援助に関する法律に基づき必要な援助を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染者又は濃厚接触者となり、出席停止措置を受けた児童生徒の保護者に対して学習支援費等の援助を行った。

[就学事務事業]

・令和５年度の小学校入学予定者 296 人に対し、健康診断及び知能検査を実施した。

[特別支援教育就学奨励事業]

・特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて必要な経費（学用品費、修学旅行費及び学校給食費）の補助を行った。

[コミュニティ・スクール]

・市内全11中学校区において学校運営協議会を設置した。学校区ごとに年２～３回の協議会を開催し、方針の確認や地域の課題について熟議する場を設けることができた。

[教育助成事業]

・小中学校の文化・体育活動及び教育関係団体の小規模・複式学校教育研究会に対して補助を行った。

・交通機関利用以外の遠距離通学の児童生徒を持つ家庭に対し、１世帯あたり３万円の助成を行った。

[児童生徒通学委託事業]

・遠距離通学者（通学距離片道４ｋｍ以上の小学生、片道６ｋｍ以上の中学生）の利便を図るため、スクールバス、タクシーによる登下校の送迎を実施し、小学生 212 人、中学生 108 人が利用した。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑦	学校施設・設備の充実	学校教育課、教委総務課

施策・基本事業の方向

・子ども一人ひとりの情報活用能力を向上させるため、環境の整備や適切な情報の選択・活用と同時に、犯罪の未然防止に取り組みます。安全で適正な学習環境を確保するため、学校施設の改善を推進します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	1,029,092 千円

活動実績・成果

[小中学校維持管理事業]

・小中学校施設の維持管理を行うとともに、児童の教育環境の改善を図るため、山口小学校大規模改修工事、小中学校トイレ洋式化工事、教員住宅解体工事等を行った。

[教材等整備事業]

・小中学校の消耗品、備品、学校図書、理科教育備品等の教材を整備し、学校教育の充実を図った。

[教育用コンピュータ整備事業]

・児童生徒の情報教育を推進するため、教育用コンピュータ等の整備を行った。

・ＩＣＴ機器の活用に伴い、ネットワーク環境の調査・改善を図った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	－	－	学校教育課、教委総務課

施策・基本事業の方向

・新型コロナウイルス感染症による影響への対策として、学校図書の充実、感染予防に係る衛生用品や備品を購入します。在宅での学びに対応するため、学校の情報通信ネットワーク環境の整備を行います。

・教育委員会の活動内容を広く市民に周知するため、宮古市教育委員会だよりを発行します。

・宮古市の子どもを対象にした「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を育むために実施する市内で活動する個人、団体等に対し、教育振興基金を活用した「生きる力を育む事業補助金」を交付します。

・東日本大震災により保護者が死亡し、又は行方不明となった児童生徒に対し、東日本大震災教育支援金を支給します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	31,445 千円

活動実績・成果

[感染症対策等学校教育活動継続支援事業（新型コロナ）]

・児童生徒の新型コロナウイルス感染予防のため、消毒液、ペーパータオル、空気清浄機、非接触式検知器等を購入した。

[広報「宮古市教育委員会だより」の発行]

・宮古市教育委員会だよりは、広報みやこととともに年２回（８月、１月）、市内全世帯に配布し、市ホームページでも発信した。

[教育振興基金事業「生きる力を育む事業補助金」]

・市内で活動の拠点がある10団体に対し、教育振興基金を活用した事業費の補助を行った。

[東日本大震災教育支援金事業（震災対応分）]

・震災で保護者を亡くした児童生徒（延べ18人）に対し、支援金及び定期金を支給した。

「学校教育の充実の総括」

① 確かな学力を育む教育の推進

・児童生徒の学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの機会をさらに充実させるため、「指導と評価の一体化」の実現に向けた授業改善をより一層推進していく必要があります。

・教職員の資質向上を図るため、教育課程、教材、教育指導技術等の調査研究を行ってまいります。今後は、ＩＣＴ機器の効果的な活用が各学校において実践されるよう、ＩＣＴ支援員を活用し支援を行っていく必要があります。

・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行いました。引き続き児童生徒の実態を適切に捉え、教員が授業改善を図っていけるよう支援し、研修会等を開催してまいります。

② 豊かな心を育む教育の推進

・学校図書館支援員を活用し、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行うとともに、学校図書館の環境整備をしていく必要があります。

・外国語指導助手を活用して、言語や異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育みながら、自己肯定感を高める教育の充実を図っていく必要があります。

③ 健康な体を育む教育の推進

・児童生徒の体力や健康状態等を把握し、学校での教育活動や中学校の部活動の複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図ってまいります。

・児童生徒の保健管理を徹底するため、市内全小中学校において、安全に配慮しながら食生活の指導及び口腔衛生を実施してまいります。

④ 特別支援教育の充実

・支援が必要な児童生徒が、個々の状況に合った支援を受けるため、学校に特別支援教育支援員及び介助員を配置しております。今後も児童生徒が充実した学校生活を送る支援体制を継続する必要があります。

⑤ 相談・支援体制の充実

・教育研究所を中心に教師、児童生徒及び保護者に対する相談活動を実施するとともにこども発達支援センターやスクールカウンセラー、医療、福祉などの専門機関と連携した細やかな対応を行ってまいります。

・学校支援員を配置し、一人ひとりに応じた指導を行うことで中学生の学校生活の安定を図ってまいります。また、部活動指導員を配置し、引き続き教員の勤務負担軽減と部活動指導の指導体制の充実を図ってまいります。

・教育相談員及び適応教室指導員を配置し、子どもの不登校や問題行動などに適切に対

処し、家庭、地域及び関係機関との連携による教育相談体制の充実に努めてまいります。
・「宮古市いじめ防止基本方針」や各学校においての「いじめ防止基本方針」に従い、いじめ問題への対策のための組織的対応を促し、迅速かつ適切にいじめ問題等に対応してまいります。
・市内全小中学校で「魅力ある学校づくり」を展開し、子どもたちの「居場所づくりと絆づくり」に努めてまいります。

⑥　教育環境の充実
・就学援助による経済的援助の推進を図ってまいります。
・運動部、文化部における児童生徒の活動の後押しをするため、大会出場への補助を行う必要があり、また保護者の経済的負担軽減を図ってまいります。
・スクールバス及び送迎タクシーの運行により、遠距離通学となる児童生徒及びその保護者の通学に対する負担や不安の軽減を図ってまいります。
・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の経済的理由等により左右されることのないよう、学びを支える教育環境の充実を図ってまいります。

⑦　学校施設・設備の充実
・児童生徒がよりよい教育環境で学習ができるよう、小中学校の消耗品、備品、学校図書等を整備し、教材の充実を図ってまいります。
・令和４年度までに、教育用コンピュータ等（タブレット端末）の整備を行いました。ＩＣＴ機器を活用した授業改善等、学びの充実を図ってまいります。
・児童生徒の安心、安全のため、老朽化が著しい施設の改修及び設備等の更新を行いながら適切な維持管理を図ってまいります。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・関係機関・団体等との連携による「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」を中心に、いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境づくりを進めます。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	210 千円

活動実績・成果

[生涯学習推進体制整備事業]

・庁内で組織する生涯学習推進本部等により、生涯学習の推進を図った。

[リーダーバンク事業]

・市内の指導者、生涯学習関連施設、及び学習グループ等に関する情報等をまとめた「宮古市生涯学習まなびガイド」を作成し、情報提供を図った。

[生涯学習情報提供事業]

・生涯学習関連の催しを掲載する市民カレッジニュースを毎月 592 部発行した。

[生涯学習相談体制整備事業]

・市民の自主的な学習を支援するために、学習機会や学習の場に関する相談に応じて指導者との連絡調整等を行った。

[生涯学習ボランティア育成・活動推進事業]

・県主催の地域学校協働活動推進員地区別研修講座に参加し、地域学校協働活動推進員のスキルアップを図った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	②	学習環境の整備	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・社会教育関連施設を計画的に改修等するとともに、施設間のネットワークを充実させ、市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応する学習機会の充実を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	10,340 千円

活動実績・成果

[社会教育関連施設整備事業]

・図書館の駐車場拡充のため、旧勤労青少年ホーム解体工事の実施設計を行った。

・図書館高圧電気設備更新工事の実施設計を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	③	読書まち宮古の推進	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・幅広い世代の市民が気軽に読書に親しむ「読書まち宮古」を推進します。あらゆる市民が本に親しむ拠点として、さらなる図書館サービスの充実を図ります。ブックスタート事業等の読み聞かせ活動の充実や、読書習慣の形成に向けた取り組み等、数多くの本との出会いを支援します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	94,347 千円

活動実績・成果

[図書館運営事業]

・蔵書を増やし、図書資料を充実させた。また、フリーWi-Fi の導入、及び書籍落下防止装置の設置等、快適で安全に図書館を利用できる環境整備を行った。

[子ども読書活動支援事業]

・乳幼児の心と言葉を育む「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実に努めた。

・本の読み聞かせを行うおはなし会は、市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、図書館本館のほか田老・新里・川井分室で実施した。

[読書まち宮古推進事業]

・新たに電子図書館を導入し、市民が直接図書館へ来館しなくても、いつでも・どこでも読書を楽しめる環境を整備した。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	④	学校・家庭・地域の連携と協働	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、コミュニティ・スクールを推進するとともに、学校・地域・家庭が一体となった地域学校協働活動の充実を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	5,767 千円

活動実績・成果

[コミュニティ・スクール推進事業]

・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と連携して、市内８校が地域学校協働活動に取り組んだ。

[教育振興運動支援]

・田老・新里・川井の各実践区で取り組んでいる地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動を支援した。

[３者合同大会「３ライズ・ミーティング」]

・学校保健会、ＰＴＡ連合会及び教育委員会の３者共催で取り組む「３ライズ・ミーティング」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、参集形式の大会が急遽中止となった。代替えとして、各団体の取り組みについて、宮古市教育委員会だより（１月号）に発表内容を掲載し周知を図った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑤	家庭及び青少年の学習活動の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・家庭、地域の教育力の向上を図るため、子育てなどに関する学習機会の提供や相談体制づくりを進めます。心豊かな青少年を育成するため、社会全体で子どもを育てる環境づくりを支援します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	2,019 千円

活動実績・成果

[乳幼児期家庭教育学級]

・子育てに役立つ知識の習得と、親同士の交流の場を提供するため、乳幼児期家庭教育学級を年７回開催し、延べ69人が参加した。

[幼児期家庭教育学級]

・幼稚園、保育所等において行われる家庭教育学級は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用実績がなかった。

[小・中学校期家庭教育学級]

・小・中学校において行われる家庭教育学級の実施を支援した。４学級 268 人が参加した。

[高校生ふれあい体験事業]

・次世代を担う高校生が、乳幼児とふれあい、子育てを学び、体験する高校生ふれあい体験事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。

[青少年体験学習推進事業]

・子ども会活動の中心となるリーダーを育成するため、野外活動センター（田代）を会場として、子ども会活動で実践できる屋外での遊び等を体験する研修会を開催し、２組５名が参加した。

[世代間交流事業]

・伝統文化の伝承や子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。

[放課後子ども教室推進事業]

・放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりのため、川井地区の小学生を対象に放課後子ども教室を年間 199 日開設した。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑥	成人の学習活動の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・多様化する学習ニーズに応えるため、生涯を通じた学習機会の提供を行うとともに、生涯学習を通じて地域コミュニティを支える人材の確保・育成を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	3,667 千円

活動実績・成果

[20歳のつどい事業]

・新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催した。密を避けるため、会場内を一方通行とし、参列は20歳の対象者とその家族２人までとした。（対象者 346 人出席、出席率 62.8%）また、式典の模様はＹｏｕＴｕｂｅで生配信した。

[成人学習活動促進事業]

・市民の多様化・高度化するニーズに応えるため、公民館及び生涯学習センターにおいて講座及び教室を実施し、全99回、延べ 849 人が参加した。

[高齢者学習活動促進事業]

・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう、公民館及び生涯学習センターにおいて、社会経験者大学（宮古）、ゆうゆう講座（田老）、いきいきセミナー（新里）、及びしらかばカレッジ（川井）等の講座及び教室を実施し、全26回、延べ 1,009 人が参加した。

[世代間交流事業]（再掲）

・伝統文化の伝承や子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

[みやこ市民カレッジ運営事業]

・公民館及び生涯学習センターで行う講座等のほか、地域創生センターで行われる講座等を市民カレッジニュースに掲載し、情報提供を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑦	生涯学習関係活動団体の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・生涯学習活動や地域づくり活動を行う団体等に対して、継続的な活動と活性化が図られるよう助言や支援を行います。これらの団体と連携して、多様化する市民の価値観や学習ニーズに対応した学習機会の提供を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	400 千円

活動実績・成果

[生涯学習関係団体育成事業]

・宮古市地域婦人団体協議会の自主的活動を支援するとともに、助言、指導を行い、団体の育成を図った。

[女性団体との連絡協調]

・市内９つの女性団体で組織する宮古市女性会議を支援するとともに、各団体への連絡、協調した活動、及びリーダー育成を図った。

[生涯学習講師派遣事業]

・市民グループ等９団体に延べ24回の講師派遣を行い、延べ 233 人の自主学習を支援した。

[出前講座（まちづくりふれあい講座）]

・全73講座のメニューを企画し、市民グループ等の希望により49講座を実施し、延べ842 人が意欲的に学びを深めた。

「生涯学習の推進の総括」

① 推進体制の充実

・庁内各部署で実施する事業のうち、生涯学習につながる事業があります。事業の連携や統合・共同実施により、効率的・効果的に進めることができるものは積極的に連携等を進める必要があります。

② 学習環境の整備

・社会教育施設の老朽化が進んでいます。補助金等の財源を確保しながら計画的に改修工事を進めていく必要があります。

③ 読書まち宮古の推進

・蔵書冊数が図書館の収蔵能力の限界に近付いています。限られたスペースを最大限に活用しつつ、計画的に蔵書の入れ替えを行い、内容の更新を図っていく必要があります。

・電子図書館の蔵書を増加させ、図書館への来館が困難な方に対するサービスを充実していく必要があります。

④ 学校・家庭・地域の連携と協働

・コミュニティ・スクールと連携し、学校・地域・家庭が一体感を持ち、より良い関係を築いていくとともに、地域学校協働活動の取り組みをさらに広げていく必要があります。

⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援

・乳幼児期家庭教育学級は、少子化の影響で参加者が減少しており、旧市町村地域ごとの開催が困難になっております。開催場所や開催方法について、検討する必要があります。

⑥ 成人の学習活動の支援

・公民館事業において、市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、公民館まつりや舞台部門発表会を継続して実施する必要があります。

⑦ 生涯学習関係活動団体の支援

・まちづくりふれあい講座では、令和３年12月に「日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの津波・浸水域」が国から示されたことで、防災講座の開催が昨年の７回から26回に急増しました。市民グループの学習要求に対応するため、引き続き、暮らしに身近なことをテーマにした講座を実施していく必要があります。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・健康寿命の延伸、障がい者スポーツなどへの関心の高まりに対応するため、関係団体と連携し、生涯スポーツの推進体制の充実を図ります。スポーツツーリズムによる交流人口の拡大に向けて、合宿等の誘致を推進します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	26,573 千円

活動実績・成果

[スポーツ・レクリエーション推進体制整備事業]

・市民のスポーツ・レクリエーションの意識の高揚を図るため、スポーツ推進員のふれあい講座への派遣（ボッチャ体験）や「スポーツインティグリティ～ジュニア選手の可能性を引き出すために～」と題して講演会を実施した。
一般財団法人宮古市体育協会が行う活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの推進を図った。

・体育スポーツ振興及び健康に関する協定を締結している日本体育大学の横山順一教授をお招きし、講演会を開催した。健康で元気に過ごすための秘訣についてお話しいただき、健康長寿に関する意識啓発を図った。

[スポーツ・レクリエーションの情報発信]

・スポーツイベント等の情報を広報みやこやホームページ及び各種メディアを通じて発信した。
令和４年度は、宮古市で全国規模の大会として、「日本マスターズ 2022 岩手大会（軟式野球会場）」や「2022Laser 全日本マスターズ選手権大会（セーリング競技）」が開催されたことを好機とし、各種メディアでの情報発信や横断幕・ノボリ等によるシティドレッシングにより、大会を盛り上げた。

[スポーツツーリズム推進事業]

・スポーツを通じた交流人口の拡大を推進するため、オンラインでの首都圏の大学等との合宿相談会に参加し、合宿誘致の推進を図った。また、誘致促進のため、宮古市で合宿を行う市外団体に対して助成を行った。

・早稲田大学応援部の合宿の受入れを行った。併せて「宮古市ふれあい発表会」、「やまびこフェスタでの応援披露」や「田老地区防潮堤での応援歌披露」を行い、市民に応援パフォーマンスの素晴らしさを市民に体感してもらうとともに、応援部との交流の機会を設けることができた。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	②	指導者等の確保・育成	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・市民の多様化する要望に応えるため、指導者の育成やスポーツリーダーバンクの充実による指導者の確保を図ります。協定を締結した大学等と連携しながら、指導力の向上を図る研修会等に取り組みます。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	17,746 千円

活動実績・成果

[指導者養成研修事業]

・日本体育大学との「体育スポーツ振興及び健康に関する協定」を活用した「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」は、新型コロナ感染症の拡大に伴い中止とした。

・「陸上競技選手育成強化支援事業」において、選手及び指導者を対象に「陸上クリニック」を行った。オリンピック選手や多くの優秀な陸上選手を育て、陸上競技指導者として数々の功績を残している大村邦英氏を講師に迎え、全国レベルの技術指導を受けることができた。

・スポーツ少年団の指導者・選手・保護者等を対象に岩手県のスポーツ医・科学サポート事業を活用し「女性アスリートの指導」についての研修会を実施した。

[スポーツ推進委員研修事業]

・岩手県スポーツ推進研修会が宮古地区で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となった。

・スポ―ツ推進委員を対象とした研修会を開催した。岩手県のスポーツ医・科学サポート事業を活用し「スポーツインティグリティ（スポーツ倫理）」についての研修を行い、ジュニアアスリート等の指導者の資質向上を図った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	③	活動機会の提供	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・ライフステージに応じた競技会、生涯スポーツ及びスポーツ・レクリエーション活動を推進します。若者に関心が高いエクストリームスポーツ、スポーツクライミング、自然を活用したスポーツ等、新しい分野のスポーツについて、体験する活動を関係機関と連携のうえ提供します。各種大会等を開催するほか、スポーツ・レクリエーション団体の支援、総合型地域スポーツクラブの育成・普及を図ります。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	26,597 千円

活動実績・成果

[スポーツ・レクリエーション活動支援事業]

・宮古サーモン・ハーフマラソン特別大会の開催に対して補助を行った。
・宮古サーモン・ハーフマラソン大会の新コースのハーフ、10kmにおいて日本陸上競技連盟の公認を取得した。
・「海の日」宮古港カッターレースの開催に対して補助を行った。
・2022Lasar 全日本マスターズ選手権大会の開催に対して補助を行った。

[活動機会の提供]

・地域住民が日常的にスポーツ、レクリエーションを親しむ場として、小中学校の体育施設を開放した。
・一般財団法人宮古市体育協会へ補助金の支援を行い、各競技団体の大会開催、教室開催等の振興を図った。また、「小学生ドッジボール大会」「小学生縄跳び大会」を宮古市民総合体育館で開催した。
・高田道場によるスポーツチャレンジ事業（「高田式体育教室－ダイヤモンドキッズカレッジ－」）は、宮古市民総合体育館で新型コロナ対策のため親子に限定して開催した。
・第７回宮古市長杯スナッグゴルフ大会及び第１回岩手県予選会が、一般財団法人日本ゴルフツアー機構の主催で開催され、全国大会に繋がる岩手県予選会が初めて実施された。市内の児童３名が岩手県代表選手として福島県で開催された全国大会に出場した。

[総合型地域スポーツクラブ育成・普及]

・総合型地域スポーツクラブの制度の改定に伴う研修会等に参加し、情報収集や情報交換を行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	④	選手の育成強化	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・トップチーム、トップ選手の高度の技術や施設に触れる機会を提供することで、選手の意欲増進と競技力の向上を図ります。各団体が行う講習会や上位大会に進出した選手・チームの大会参加に対して支援を行います。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	17,746 千円

活動実績・成果

[スポーツ選手育成強化事業]

・各種競技協会における育成強化事業は、昨年度よりは事業実施団体は増えたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施団体は４団体の実施であった。

・陸上競技選手育成強化支援事業は、大村邦英氏をはじめ３名の女性アスリートを講師に迎えて市内外の児童・生徒が全国レベルの技術指導を受けることができた。

[スポーツ少年団活動等支援事業]

・全国大会に出場する選手等に賞賜金を交付した。児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、宮古市児童生徒大会等参加費補助金により支援を行った。

[指導体制の充実]

・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用した「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」は、新型コロナ感染症の拡大に伴い中止となった。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	⑤	スポーツ環境の整備	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、体育施設を適切に維持管理します。老朽化した体育施設については、計画的に改修などを行います。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	292,638 千円

活動実績・成果

[体育施設改修事業]

・市民総合体育館（排煙装置・自動火災報知設備）改修工事を行った。

・宮古運動公園陸上競技場の３種公認更新に係る改修工事を行った。

・宮古市野外活動センター屋外トイレの解体・新築工事を行った。

[多様化するニーズに対応する活動支援]

・野外活動センターの利活用において、地域とのワークショップを行い利活用の方向性について検討した。また、野外活動センター等で「森のあそびば」「多志呂國探検ウォーキング事業」「ツリークライマー養成講座」「星空観察会」「テントサウナ体験会」等イベント開催を行い、アンケートを実施し、利用者のニーズ把握を行った。

[学校施設の開放事業]

・小学校（13校）、中学校（11校）で学校開放事業を行い、年間 93,231 人の利用実績があった。

「スポーツ・レクリエーションの振興の総括」

① 推進体制の充実

・一般財団法人宮古市体育協会、スポーツ推進委員、協定を締結している大学と連携協働した推進体制を継続しています。健康寿命の延伸に係る取組みにおいてコロナ禍を経て、個人での健康づくりに活用できる都市公園の健康遊具の利活用や体育協会で実施している各種教室等の活用の幅が広がりました。

・スポーツイベントやジュニアスポーツ活動を支えるボランティアの確保が必要です。

・「宮古市健康長寿を実践するための５カ条」の実践において、「シルバーリハビリ体操」の取組みが浸透しています。この活動が更に充実したとなるよう日本体育大学の協力を得ながら推進を図ります。

② 指導者等の確保・育成

・スポーツ推進委員やスポーツ少年団の指導者の研修会をはじめ、一般社団法人宮古市体育協会による指導者講習会等により市内のスポーツに関わる指導者の資質の向上を継続して行っています。今後、中学校の休日の部活動の地域移行に伴って指導者の確保が必要です。更なる指導者の確保育成に向けて取組む必要があります。

・スポーツ少年団の指導者資格の更新に対しては、一般財団法人宮古市体育協会を通じて補助金等により支援を行っています。また、指導者の育成において、協定を締結している大学や岩手県が行っているスポーツ医・科学サポート事業等を活用し指導者の育成を行っています。

③ 活動機会の提供

・コロナ禍を経て、感染予防対策を行いながらの体制でスポーツイベント等を実施できる状況になってきています。多くの方々スポーツ・レクリエーションを楽しめる機会を積極的に提供していきます。

・宮古市野外活動センターの活用について、イベント等を開催するとともに、田代地区民と連携し田代地区の振興と併せて検討しています。これまでの検討内容を踏まえて活用方針を定めます。

④ 選手の育成強化

・賞賜金や大会参加補助金による支援を継続して行い選手の競技力の向上を支援します。

・日本体育大学との協定を活用した「ジュニアスポ―ツ育成ドリームキャンプ事業」により、最先端の施設体験や研修の機会を提供し、児童・生徒が全国レベルの選手として成長できるよう支援します。

・市内の競技団体に対して、一般社団法人宮古市体育協会を介して育成強化に係る事業を展開します。

⑤　スポーツ環境の整備

・老朽化した体育施設、備品等については、宮古市公共施設再配置計画（実施計画）に基づき、計画的な改修を行います。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	４	文化の振興	担当課名
基本事業	①	芸術文化の推進	文化課

施策・基本事業の方向

・市民文化会館を芸術文化活動の拠点施設と位置づけ、多くの市民が参加する市民文化祭や市民劇など市民文化会館が実施する事業を通して、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を推進します。芸術文化団体の基盤強化や人材育成の観点から、これらの団体が行う芸術文化活動を支援します。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	198,717 千円

活動実績・成果

[市民文化会館管理事業]

・市民の芸術文化の拠点施設である市民文化会館について、指定管理者制度により効果的、効率的な管理運営を行った。また、安全対策として大ホール天井改修工事実施設計業務を行った。

・引き続く新型コロナウイルス感染症の影響下であったが、感染防止対策を徹底することにより、団体鑑賞事業や市民文化祭、市民芸能まつり、みやこ郷土芸能祭、岩手芸術祭巡回美術展等、概ね当初計画どおり事業が行われた。

[文化振興一般事業]

・芸術文化を通じて市民に安らぎを与え、心を癒す役割を果たす事業を実施した。
宮古市所蔵絵画展50人、岩手芸術祭小中学校巡回美術展 105 人、桂宮治 六華亭遊花落語会 193 人、ＮＨＫのど自慢 700 人、東北みやこ寄席 106 人、笑おう！楽しもう！「こども落語体験」＆「落語会」147 人、みやこ市民文化祭 5,292 人、劇団四季「こころの劇場」動画配信 148 人

[文化振興一般事業【震災対応分】]

・被災地復興支援に取り組む演奏家によるコンサートを開催した。
佐渡裕＆スーパーキッズ・オーケストラ公演 450 人

[心の復興事業【震災対応分】]

・多くの市民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、震災からの「心の復興」を推進するため、みやこ復興寄席を開催した。
みやこ復興寄席 501 人

令和４年度点検及び評価表

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）

施　策	４	文化の振興	担当課名
基本事業	②	文化財の保存と活用	文化課

施策・基本事業の方向

・文化財保護法の一部改正に伴い、文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。市内の多種多様な文化財を、次の世代まで保存・継承を図るために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムと北上山地民俗資料館並びに小国分館及び埋蔵文化財センターを拠点とし、文化財の調査・研究・公開に取り組みます。民俗芸能については、伝承団体への支援を継続するとともに、学校活動も含めた地域文化の映像記録保存に取り組みます。

事務事業費（令和４年度決算見込額）	88,050 千円

活動実績・成果

[指定文化財保存・管理事業]

・市指定文化財に関する年２回の環境整備（草刈り）や年１回の現況確認等の保存管理を行い、文化財の保存・活用について意見を聴取するために８月と１月に宮古市文化財保護審議会を開催した。

・「宮古市文化財保存活用地域計画」の策定に向けて、７月、10月、２月に協議会を開催し、素案の修正等を行った。合わせて公開講座を実施し、市民に向けて歴史や文化の情報発信を行った。

[民俗芸能記録保存事業]

・新型コロナウイルス感染症の影響による活動の休止から再開した芸能と祭礼行事を含め、５件を映像収録した。

[埋蔵文化財調査事業]

・個人住宅の建築等に伴う発掘調査を 1 件、試掘調査を 3 件実施し、これら全ての調査を期間内に終えることができた。

・墓目埋蔵文化財収蔵庫の維持管理を行い、近内中村遺跡調査報告書(第 1 分冊)を刊行した。

[文化財公開・活用事業]

・崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、市民が歴史や文化に触れることのできる各種講座やイベント、企画展等を行った。令和４年度の入館者数は 4,819 人、縄文体験者数は 1,053 人であった。

[崎山貝塚縄文の森公園管理事業]

・崎山貝塚縄文の森公園の草刈りや枝打ち等の環境整備を随時行い、さらに崎山貝塚縄文の森公園複合施設の各種点検業務を行うことで適切な維持管理を行った。

[北上山地民俗資料館管理運営事業]

・国指定重要有形民俗文化財「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」1,345 点を含む、宮古市収集の有形民俗資料についての理解を深めるために、市民を対象として各種体験講座や企画展を行った。令和４年度の入館者数は 1,690 人、郷土食作り講座や昔の技術での小物作り体験講座の参加者数は 284 人、小国分館で所蔵する市収集有形民俗資料の利活用についてのイベントには 364 人の参加や見学があった。また、展示施設の維持管理や国指定重要有形民俗文化財を含む所蔵資料の保存管理についても適切に行った。

令和４年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施　策	４	文化の振興	担当課名
基本事業	③	市史の継承	文化課
施策・基本事業の方向 ・古文書などを収集、保存し、市史資料として後世に継承するとともに、その公開や活用を推進します。			
事務事業費（令和４年度決算見込額）			3,239 千円
活動実績・成果			
[市史編さん事業] ・東屋文書の整理・コピーを継続して行い、新たに３件の古文書を収集し、整理・コピーを行った。			

「文化の振興の総括」

① 芸術文化の推進

・市民の芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の管理運営については、指定管理者の専門性を生かした事業実施により、効果的で効率的な運営を行った。
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の芸術文化団体等には、文化課内に設置した相談窓口を通し、継続して活動を支援していく必要がある。

② 文化財の保存と活用

・文化財を次世代へ確実に継承していくために、文化財の現状把握や公開活用事業を行った。合わせて「宮古市文化財保存活用地域計画」の策定作業を進め、策定協議会や公開講座、地域の宝さがし調査等を行った。令和５年度に完成する「宮古市文化財保存活用地域計画」に基づき、今後は計画的に文化財保護行政を進めていく必要がある。
・崎山貝塚縄文の森ミュージアム及び北上山地民俗資料館では、市民や観光客向けに各種の企画展や体験、イベント、講座等を実施した。今後はＳＮＳを活用した積極的な情報発信や市内外の施設との連携等、新たな取り組みについて検討しながら充実を図る必要がある。

③ 市史の継承

・空き家の増加や社会的な意識の変化により、個人所有の神社や古文書などの維持・保管に関する相談が増加傾向にあり、有形・無形の文化財を記録保存して継承する取り組みを進める必要がある。

４　学識経験者の意見

（１）宮古地区退職校長会事務局長　山名秀樹氏

新型コロナウイルス感染症の影響が強く残る中で、宮古市教育委員会が総力をあげて関係諸機関と連携を図り、慎重かつ綿密な対策を取りながら事業を推進してきたことに感謝申し上げます。

昨年同様に中止された事業､きめ細かな対策を取ったうえで実施できた事業､様々な内容が報告されておりましたが、事業実施の時期や参加対象者の年齢構成等、複雑な要因があり、数値等で一律には評価できないと思います。

むしろ、数年続いたコロナ禍の経験を生かして、きめ細かに対応できた結果と評価する方が妥当だと思います。

新型コロナウイルス感染症は、５月８日に５類に移行となりましたが、依然として微増傾向にあり、他の感染症の心配もあります。

コロナ禍で培った経験を今年度の事業展開に生かして、オンラインの活用やスリム化も含めた事業の焦点化等、柔軟な対応を今後ともお願いします。

学校現場においても、５類移行に伴い、学校現場や保護者・児童生徒それぞれに自己の健康に対する判断力が求められることから、健康維持のために必要な物的支援の継続と、り患した児童生徒への精神的な配慮やケア等について、大所高所からきめ細かで、かつ柔軟に継続して指導していただければ幸いです。

（２）宮古市社会教育委員　松田和夫氏

教育委員会会議の開催状況と審議内容について、定例会、臨時会が適正に開催されたことを確認しました。

また、総合教育会議の開催と審議内容について確認しました。

いずれも適正に審議された内容であり、公開方法も適切であることを確認しました。

今後とも、推進体制の充実と学習環境の整備を力強く進めながら、地域と連携した本市の生涯学習の推進をお願いします。

（３）宮古市スポーツ推進審議会会長　長塚奉司氏

・教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動について、その組織体制や多くの課題に対して活発な協議をされていることが理解できました。

今後におきましても、社会的問題の少子高齢化への対応や学校現場における課外活動のあり方など、難題が続くものと思いますが、英知を集結し、立ち向かっていくようお願いします。

・施策別の主要事務の点検・評価について（スポーツ・レクリエーションの振興）

ア　推進体制の充実については、これまでどおり関係者や各団体との連携を密接に取り、専門分野に精通した人材をより一層活用するなど、積極的な交流を図るよ

うお願いします。

イ　指導者等の確保・育成は、何より身近にいる指導者の充実が必要と思います。現場指導者の苦労、悩みなどを共有して、問題解決を図り、指導者が活動しやすくなるような環境を整えるようお願いします。

ウ　活動機会の提供については、宮古市は季節を問わずスポーツを親しめる土地柄であると思いますし、各種施設も充実し、海も利用できるなど、多くの利点が存在すると思います。その周知を一層図り、多様な活動を続けていくようお願いします。

エ　選手の育成については、普及促進と高度な指導体制の両論が必要と思います。多くの方がスポーツに親しむことができて、その中からさらに上を目指す選手が出現できるような施策を望みます。

オ　スポーツ環境の整備については、既存施設の適正管理と市民ニーズを踏まえた施設整備に努めて欲しいと思います。

カ　全体的として、市のスポーツ振興を担っている部署が教育委員会となっていますが、近年ではスポーツツーリズムを始め、多種多様な取り組みがあり、広範囲な対応が求められています。市組織として横断的な協力体制にあるとは思いますが、社会ニーズにマッチしたスポーツ振興施策を一元的に実行できるような充実した組織・人員体制の構築を期待します。

（4）宮古市文化財保護審議会会長　佐々木信一氏

・共通分野について

教育委員会の活動状況について、総合教育会議、定例会・臨時会が適正に開催され、審議が適切に行われたことを確認しました。

少子化、教職員の多忙化などの課題が多い中、今後も学校・家庭・地域との連携をさらに深め、学校教育の充実に向け、教育環境の整備等の諸施策に取り組んでいただくようお願いします。

・専門分野について（文化の振興）

ア　市民文化会館を拠点に、市民文化祭や市民劇、コンサートなど様々な事業が実施され、市民が芸術文化に触れる機会を多く持てたと思います。これからも指定管理者の効率的な管理運営をお願いします。

イ　多種多様な文化財の保存や管理、活用が適切にされたと思います。崎山貝塚縄文の森ミュージアムや北上山地民俗資料館で開催されたイベント・企画展は、来館者が宮古の歴史や文化に触れるとともに、理解を深める良い機会になったと思います。今後もテーマ・内容を工夫し、適宜開催されることを期待します。

ウ　「宮古市文化財保存活用地域計画」策定にあたっては、地域ごとに文化財の特色を生かした活用計画が策定されることを期待します。また、公開講座は、文化財保存活用についての関心を高めるうえで、重要と考えますので、今後も継続して欲しいと思います。

エ　個人所有の神社や古文書などの維持・保管に関する相談件数が増加傾向にある

とのことで、特に古文書の収集・記録・保存は地道で時間を要する作業となりますが、適切に行われ、継承されるようお願いします。また、公開・活用についても検討していただきたいと思います。

５　おわりに

令和４年度の教育運営は、依然として終息が見えない新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校教育や社会教育などのあらゆる教育活動を進めるうえで、様々な制約を余儀なくされました。

令和５年度は、コロナ禍で培った経験を教育運営に生かすとともに、オンラインの活用や事業のスリム化を含め、柔軟に事業を展開してまいります。

学校教育の充実については、令和４年度に中学校区単位で学校運営協議会を設置しました。今後においては、学校・家庭・地域が一体となった特色ある学校づくりに向けたコミュニティ・スクールを推進してまいります。

生涯学習の推進については、学校現場における課外活動のあり方など、指導者等の確保・育成が喫緊の課題と考えております。中学校の休日の部活動の地域移行に伴い、指導者の確保が必要となることから、各種研修会による指導者の育成やスポーツリーダーバンクによる指導者の確保に努めてまいります。

令和５年度は、令和４年度に引き続き宮古市総合計画、宮古市の教育の振興に関する大綱及び宮古市教育振興基本計画に掲げる「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」の実現に向けて、教育行政を推進してまいります。

今回、外部評価委員として学識経験者の方からいただきましたご意見等については、教育現場の意向や実態等を考慮しながら、出来る限り教育行政の施策に反映させていただきます。

最後に、令和４年度事業に係る「教育委員会の事務に関する点検評価」を実施するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。